

“講演会「命の大切さについて」の感想⑥”柏市補導センター上條先生

『私は、今回この話を聞いて「助けを求める」ことはとても大切なことだと思いました。薬物をやりたくなくても、やらされてしまう人は自分の意志ではないことをきちんと伝えないと、犯罪として受け入れられてしまうと分かり、とても怖いことだと改めて感じました。SNSの問題は、人を殺めてしまうこともあり、いつ誰が殺人になってしまうか分からないので、スマホを持っているならきちんと責任を持って使っていく必要があるし、自分の身を自分で守るためにも、怪しい人避けなければいけないと思いました。』 (4組)

『私はこの講演を聞いて2つのことを学びました。

一つ目は薬の使い方です。私は一日一回くらいアレルギーの薬を飲んでいますが、それを飲むと少し楽になります。それなのに大麻などをやると器官や喉を傷めたり、免疫力の低下、悪い妄想をしたりやる気をなくしてしまうことがわかりました。薬物は依存性が強いと聞いたので、どんどん悪化してしまうと思います。だから一回くらいなら大丈夫など、軽い気持ちでやるのは絶対だめだと思いました。また、一回だけとやって逮捕されてしまうと、人生全て狂ってしまうということです。逮捕されてしまうと何ヶ月、何年も無駄にしてしまいます。また、依存性が高いので、もう一回やってしまったり信用が無くなるということもわかりました。少しずつ信用してもらったのにマイナスからスタートになるので、絶対だめだと思いました。

二つ目はSNSの使い方です。上條先生によると目立ちたいという、あほな理由で犯罪を起こすのだなと思いました。人生がつまらないから犯罪を起こして目立つのではなく、たくさん努力をして目立った方が絶対いいと思いました。だから、これから薬物などの犯罪で目立つとするのではなく、私は陸上競技が好きなので、種目を誰よりも努力して先輩みたいに1位を取りたいと思います。また、それを成し遂げた後に薬物をやると、それも全て台無しにしてしまうので、成し遂げた後でもやらないという強い意志を持ちたいと思います。』 (3組)

『今回のお話を聞いて、人生は一人一人大切だということがわかりました。薬物は自分の健康な体を汚してしまうだけなので、やらないのが一番良いということを初めて理解できました。さらに寿命も短くなり、良いことが何一つもないので、改めて危険なことだと感じました。その一番初めは煙草に手を染めてしまっているということで、前からたばこは吸いたくありませんでしたが、より一層吸わないようにしたいと思いました。ネットトラブルは少しのことで相手を傷つけてしまったり、いつ自分が傷つけられてしまうか分かりません。そんな時は必ず近くの大人に相談することが大切だと知りました。人生を楽しくするために注意しながら過ごしていきたいと思いました。』(3組)

よのなかルール 15 <「メシを食べる大人になる！よのなかルールブック」高濱正伸監修>

『『一生懸命』をバカにする人には

ふりまわされない。』

